U&R Portal 紹介・説明スライド

RAVIE'S Library

司書がいなくても回るオンライン図書館

利用者用 ｜ こども・学び



PN2026-24 ｜ 2026 年 10 月 16 日 ｜ v1.1 ・利用者用

U&R GROUP ソフトウェア開発・運用事業部 RAVIES

利用者用

この資料について

RAVIE'S Library を使う方（利用者）向けの資料です。

- RAVIE'S Library を導入・管理する事業者の方向けの説明は「事業者用」にまとめています。
- 公式サイトの RAVIE'S のページと、U&R Portal の「使い方の資料」から開けます。
- 画面写真は、説明のために見本のデータを入れて撮影したものです。利用シーンの写真は AI で作ったイメージです。



RAVIE'S Library とは

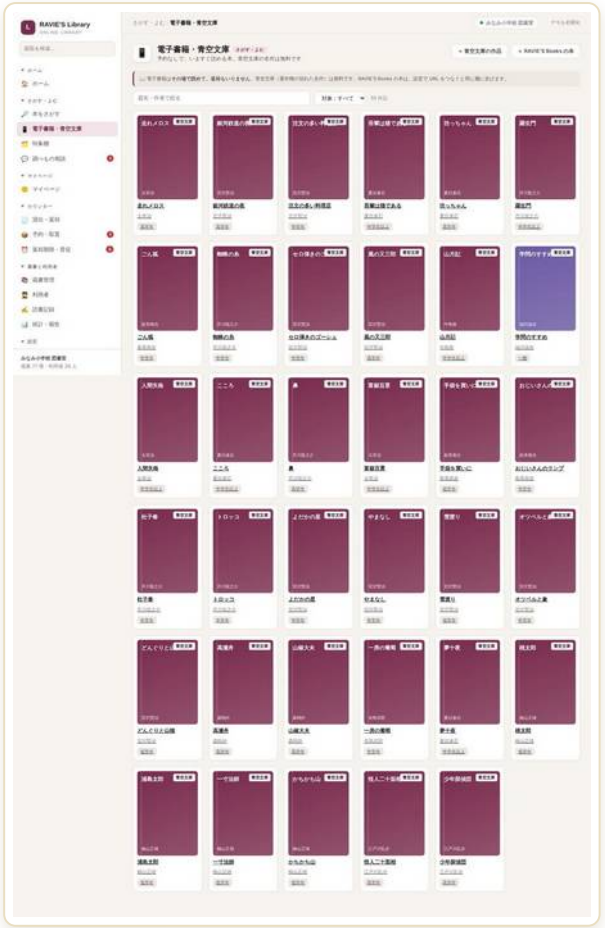
司書がいなくても回るオンライン図書館

予算・場所・司書がなくても本と出会える、学校と地域のためのオンライン図書館です。本の登録から貸出・返却・予約・読書記録までを司書なしで回せる形にしてあり、無料で読める青空文庫の名作が最初から並びます。図書室がない学校と、自社の私立図書館の両方で使うために作りました。



ここがポイント

1. 司書がいない時間も、利用者が自分のスマホで借りられる
2. 使う外部データは無料で鍵のいらない公的なものだけ。利用者の情報は外に出さない
3. 利用者には本人の分しか届かない（ほかの人の貸出・名簿・相談は見えない）
4. U&R アカウントひとつで入れる（Library 専用のパスワードはなし）
5. 追加費用 0 円で運用でき、後発の電子書籍 RAVIE'S Books ともつなげる準備がある



使う人と、できること

利

利用者（児童・生徒・会員）

本をさがす・予約・セルフ貸出返却・電子書籍を読む・読書記録・調べもの相談・マイページ。



主な機能

1. 本の裏のバーコード（ISBN）を読むだけで、題名・著者・出版社・分類が自動で入る
2. 1冊ごとの管理番号と利用者カードをバーコードで印刷し、スマホのカメラで読む（専用の機械は不要）
3. カウンターの貸出・返却（返却は本だけで済む）と、利用者のセルフ貸出・返却
4. 予約は自動で回る（在架なら取り置き、貸出中なら順番待ち、返ると次の人へ）
5. 休館日をよけた返却期限、返却期限・督促の一覧と学級別の督促状



主な機能（つづき）

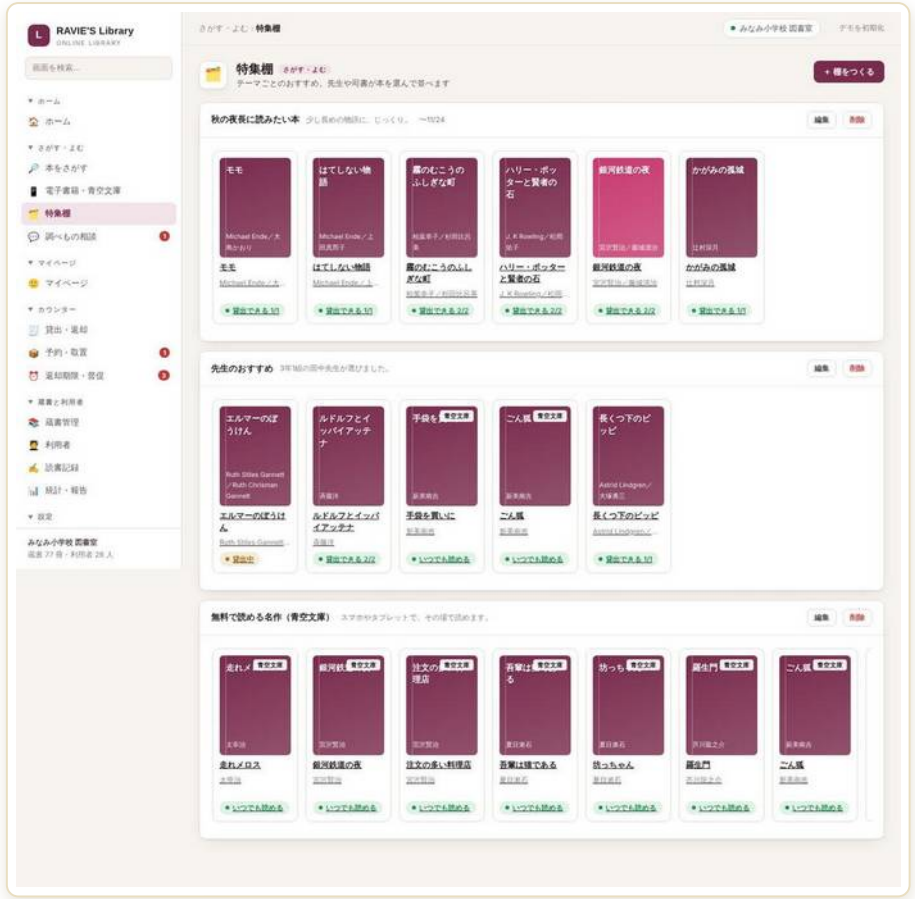
6 電子書籍・青空文庫の名作 35 作品をその場で読める（縦書き・文字の大きさ・続きから）

7 読書記録・読書通帳・目標とバッジ・名前を伏せた「みんなの感想」

8 特集棚と調べもの相談（蔵書から候補を自動で添える）

9 学校向け：学年・組、名簿の貼り付け登録、利用者カードの一括印刷、進級処理、月次報告

10 統計・報告（月ごと・学年別・人気の本・分類のかたより）



操作説明

画面と操作

「画面と操作」を、画面の写真といっしょに順に説明します。

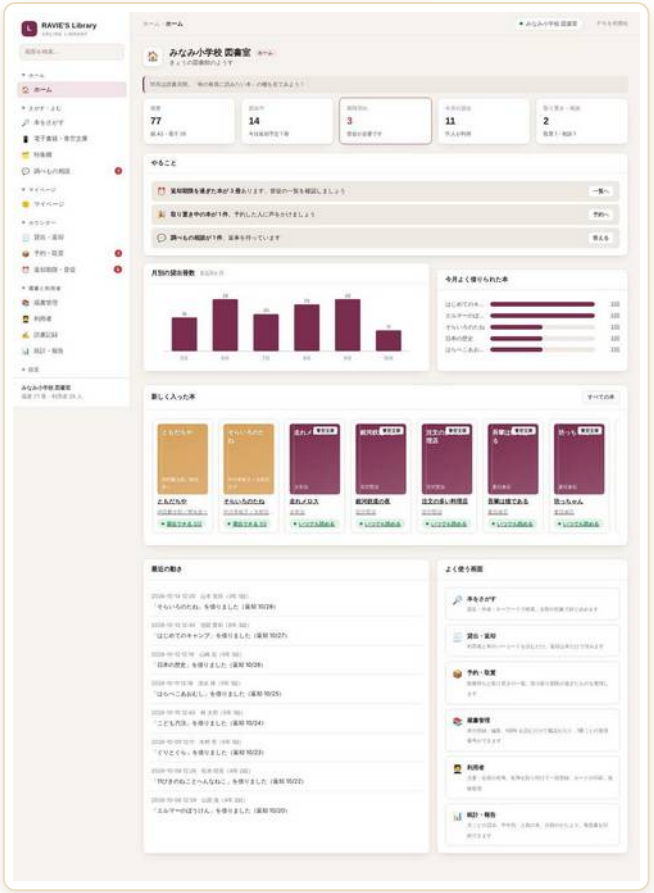


1. 画面の見かた
2. 操作の流れ

画面の見かた

試作版（見本のデータ入り）の画面です。本番の画面とは、細かな見た目が異なることがあります。

- みなみ小学校 図書室



本をさがす

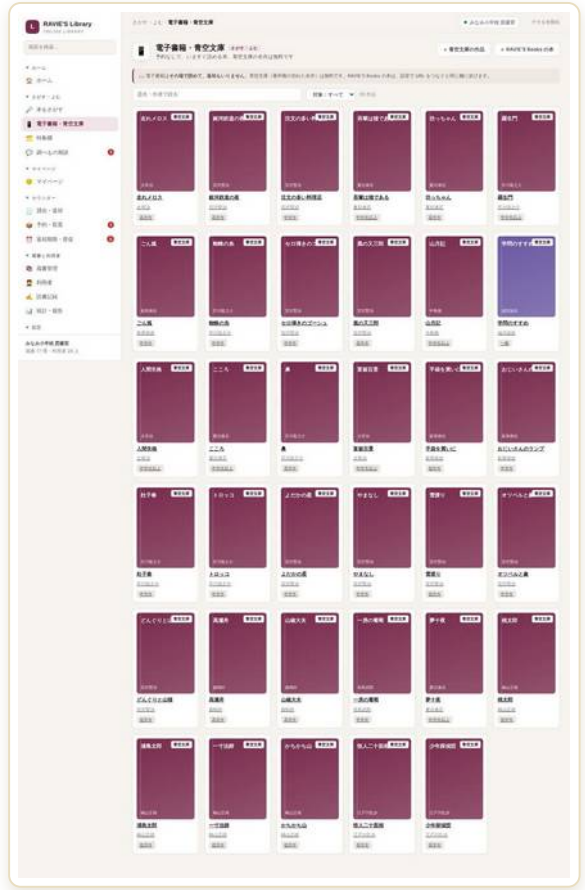
題名・作者・キーワード・ ISBN でさがし、
分類・対象・形式・貸出可で絞り込みます。



（長い画面を上から順に 3 つに分けて並べています）

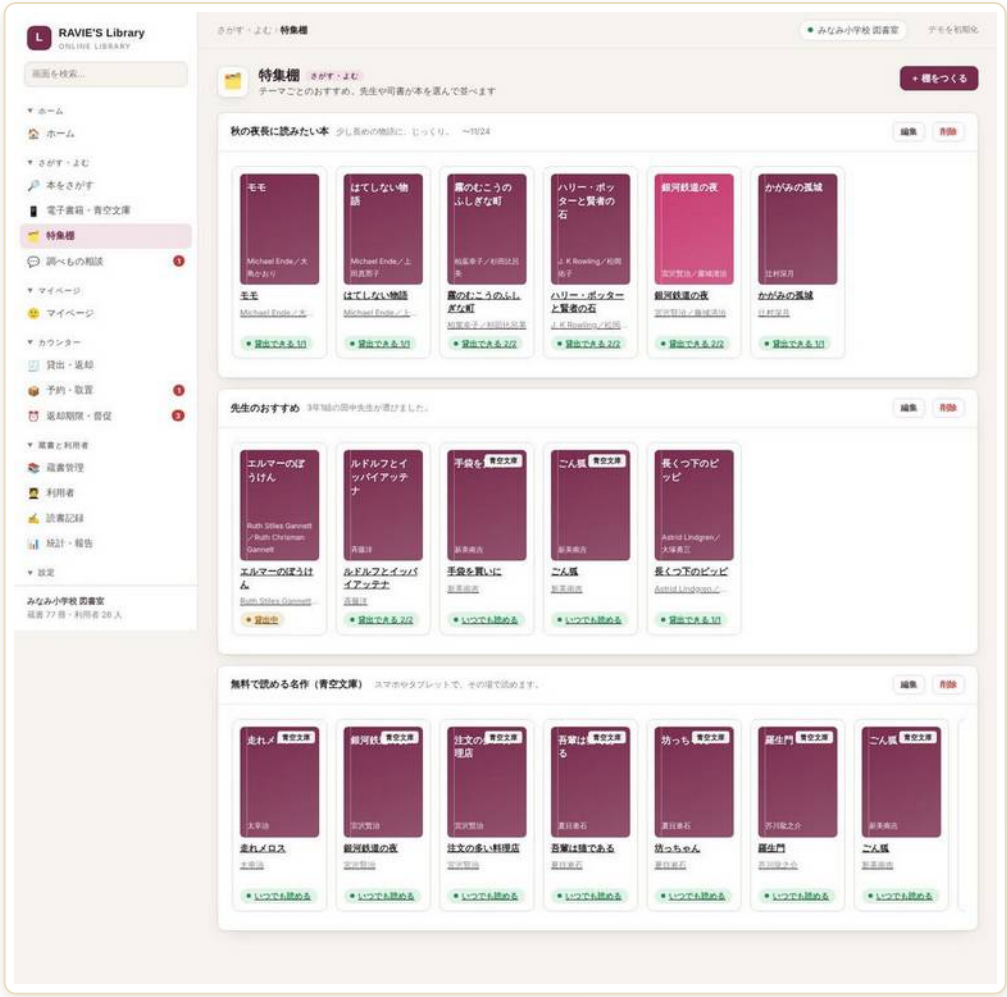
電子書籍・青空文庫

予約なしで、いますぐ読める本。その場で開く読書画面があります。



特集棚

テーマごとのおすすめ。司書・先生が本を選んで並べます。



調べもの相談

「こんな本ある？」を司書・先生に相談できます。蔵書からの候補が自動で添えられます。



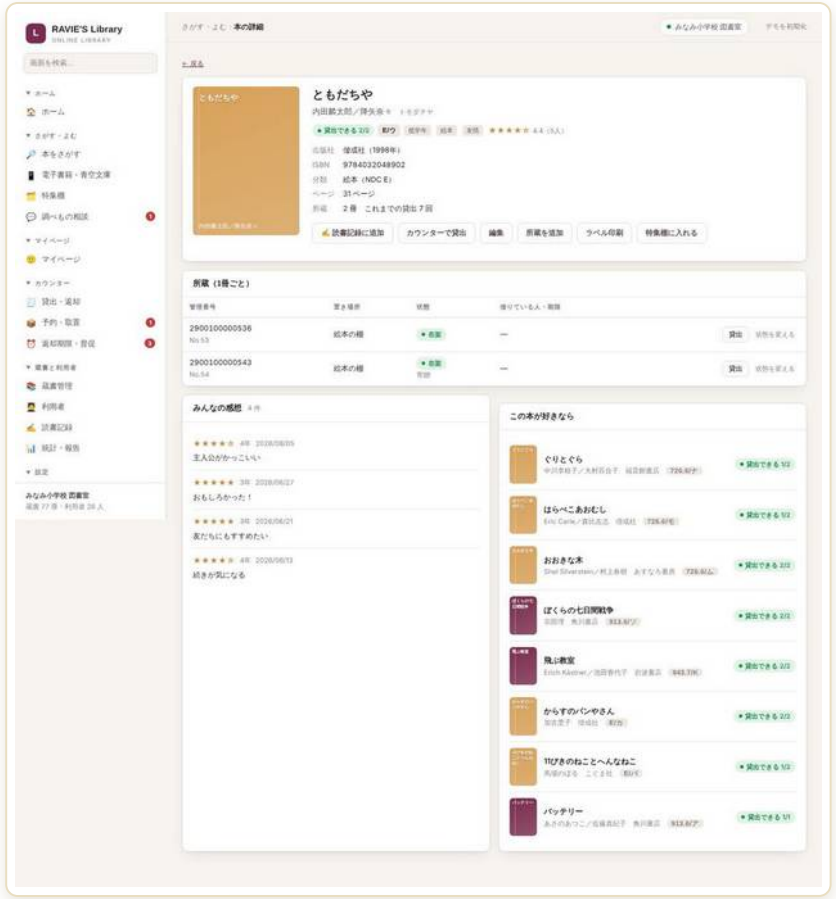
マイページ

借りている本・予約・読書記録・目標とバッジ・読書通帳・セルフ貸出返却・利用者カード。



本の詳細

所蔵と貸出状況、予約・取り置き、延長、読書記録、みんなの感想、似た本、ラベル印刷。



ほかの画面

- ホーム
  司書には「やること」（督促・取り置き・相談）と月別の貸出、利用者には検索・お知らせ・特集棚・今年の読書が出ます。
- メンバーと招待
  この図書館を使える人と立場、招待コード、名簿との結びつけ。

本をさがして予約する

操作する人：利用者

1. 「本をさがす」で、題名・作者・キーワードを入れます。
2. 本を押して「本の詳細」を開きます。
3. 貸出中なら「予約する（順番待ち）」、在架なら「取り置きする」を押します。



自分で借りる・返す（セルフ貸出）

操作する人：利用者

1. 「マイページ」を開きます。
2. 「セルフ貸出」を押し、本のバーコードをスマホのカメラで読みます。
3. 返すときは「セルフ返却」を押して、本のバーコードを読みます。
4. （図書館の設定でセルフ貸出が許されているときに使えます）



電子書籍・青空文庫を読む

操作する人：利用者

1. 「電子書籍・青空文庫」を開きます。
2. 読みたい本を選んで「いま読む」を押します。

自分で借りる・返す（セルフ貸出）（つづき）

3 縦書き・文字の大きさを選んで読めます。次に開くと続きから読めます。

4 読み終わったら「読み終わった」で読書記録に入ります。



読書記録をつける

操作する人：利用者

1 「マイページ」で「＋ 記録する」を押します（本の詳細の「読書記録に追加」からでも）。

2 読んだ日・評価・感想を入れます。

3 感想は「みんなの感想」に名前を出さずに載せることもできます。

4 「目標を決める」で今年の目標冊数を決めると、バッジが増えていきます。

調べもの相談をする

操作する人：利用者／司書・先生

1. 利用者は「調べもの相談」で知りたいことを書いて「相談する」を押します。
2. 司書・先生は「相談に答える」で返事を書きます。蔵書からの候補が自動で添えられます。



この資料に載っている画面

画面の一覧



画面の見かた（p.9）



本をさがす（p.10）



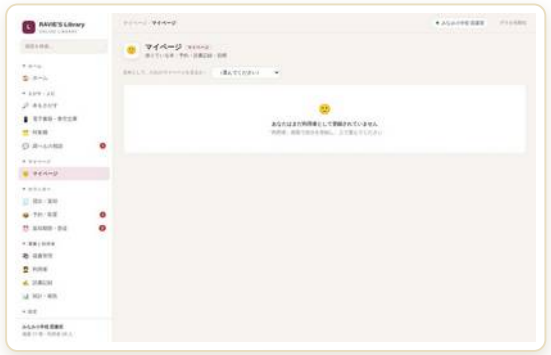
電子書籍・青空文庫（p.11）



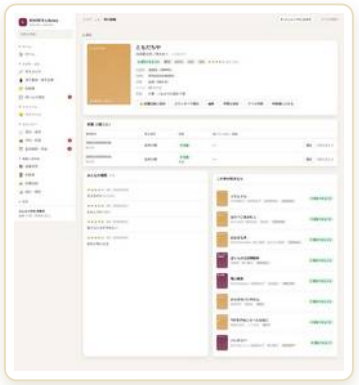
特集棚（p.12）



調べもの相談（p.13）



マイページ（p.14）



本の詳細（p.15）

お問い合わせ・ご意見

使いにくいところ、分かりにくい言葉、ほしい機能など、どんな小さなことでもお知らせください。

お問い合わせフォーム： https://uandr-group.com/ur-group/inquiry/

メール： info@uandr-group.com



この資料について

作成日： 2026 年 10 月 16 日（ v1.1 ・利用者用）
もとにした資料：操作説明書（画面と操作）
画面写真は、説明のために見本のデータを入れて撮影したものです。利用シーンの写真は AI で作ったイメージです。
システムの改修や新しいシステムの公開に合わせて、内容を更新します。

U&R GROUP ソフトウェア開発・運用事業部 RAVIES